

学校教育目標 「心豊かな中学生」「自ら学ぶ中学生」「活力あふれる中学生」



常盤のみどり

第465号 令和4年 6月 1日(水)

さいたま市立常盤中学校

〒330-0075

さいたま市浦和区針ヶ谷4-1-9

TEL 048-831-3189

FAX 048-830-1561

E-mail:tokiwa-j@saitama-city.ed.jp



スロープのプランターに咲き始めたサルビア。赤いサルビアの花言葉は「燃ゆる思い、エネルギー」。これからの季節を表すようです。

思い出み



SINCE 1947

校長 渡邊 祐子

暑い毎日が続いています。先週末にはタンスの中身をすっかり夏物に変え、部屋中の窓に虫除けネットを吊しました。タンスの中も含め、この時期、我が家では虫除けが欠かせない習慣となっています。

蚊が好きかと聞かれれば多くの方はノーと答えると思いますが、先日読んだ本「セカイを科学せよ！」の主人公ハナは、カナヘビの餌として蚊の幼虫ボウフラを理科準備室で育てていました。ハナは虫についての知識が豊富で蚊についてもたくさんを知っています。例えば、蚊は熱感知センサー、二酸化炭素感知センサー、汗成分感知センサーをもち、それらを駆使して35メートル先にいる人間や動物を見つけ出すのだと。

私は、一切の虫を嫌う母の影響を受けてか、虫が苦手です。小中学生の頃は近くに虫が飛んでくれば大声をあげて逃げていました。高校生のある日、友人の一人から、「人と虫では、虫のほうが怖い思いをしているはず。」と聞かされました。虫の身になれば、人間というこんなにも大きな顔の生き物が自分の方に近づいて大騒ぎしているんだから、どんな気持ちかわかるでしょと。そう言われて、見方を変えるとこんなにも感じ方が変わるのだとびっくりしました。それからは虫が近寄ってきても、声を出して騒ぐのはやめようと心がけています。

今月はいじめ撲滅強化月間です。常盤中学校の誰もが温かい心をもって人と接し、自分自身を隠さず表現でき、仲間と気持ちよく生活できるようにしたいと願っています。

虫の一件ではありませんが、私たちは、心の中に知らずのうちに染み込ませたものの見方や考え方があります。今月はいじめ撲滅強化月間です。常盤中学校の誰もが温かい心をもって人と接し、自分自身を隠さず表現でき、仲間と気持ちよく生活できるようにしたいと願っています。

校庭からは、体育祭や学校総合体育大会へ向けた意気込みが大きな声によって伝わってきます。暑さの中でもさわやかに一致団結して取り組む子どもたちに応援をお願いいたします。

- 常識とは、18歳までに身につけた偏見のコレクションのことだ。 —アインシュタイン—
- ちょっと見て分かった気になっちゃダメ。よく見て、よく考えて、本質を追求するんだよ。 —ハナのおばあちゃん— 「セカイを科学せよ! (安田夏菜 著)」より
- 人は人の心に鈍感。 —スクールロイヤー 山崎真紀弁護士—